

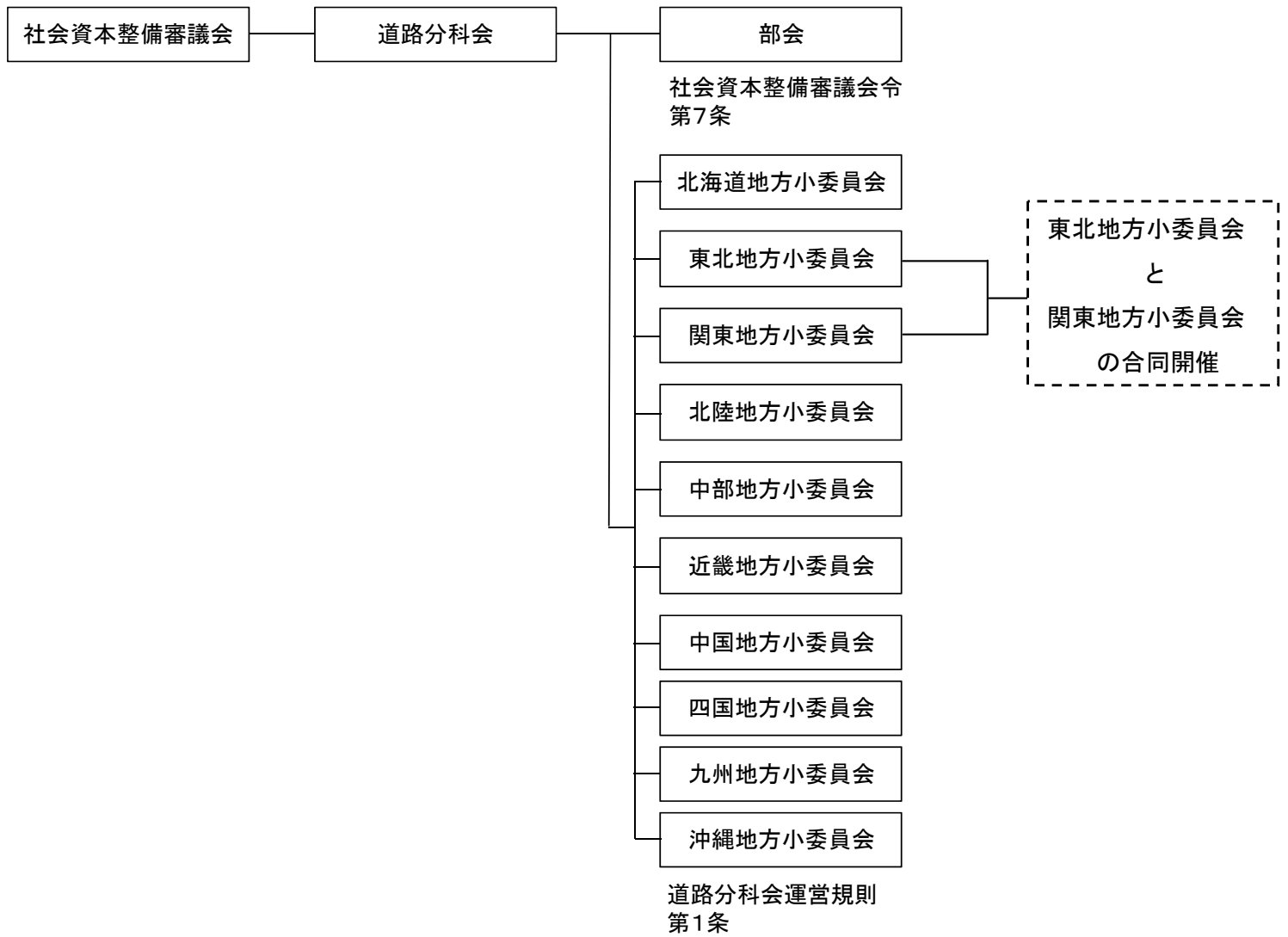
東北・関東地方小委員会の 運営規則について

国土交通省 東北地方整備局
関東地方整備局

平成25年6月4日

地方合同小委員会の位置づけ

・既存の各地方の小委員会を合同で開催する



社会資本整備審議会道路分科会 東北地方小委員会運営規則

(趣旨)

第1条 本規則は、「社会資本整備審議会道路分科会運営規則」(平成22年8月3日道路分科会長決定)に基づいて設置する小委員会(以下「小委員会」という。)の組織、委員、会議、庶務その他委員会の設置等に関して必要な事項を定めるものである。

(小委員会の事務)

第2条 小委員会は、社会資本整備審議会道路分科会長(以下「分科会長」という。)の求めに応じ、以下の調査を行う。

- 一 計画段階評価、新規事業採択時評価の対象事業に関し、東北地方整備局(以下「整備局」という。)が作成した対応方針(案)。
- 二 地方の道路事業の効率的な実施に関する事項。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。

- 2 委員は、再任されることができ、最長6年を限度とする。

(会議の成立条件)

第4条 会議は委員の三分の一以上の出席がなければ開催することができない。

(合同の会議の開催)

第5条 案件に応じて、他の地方の小委員会と合同の会議を開催することができる。

- 2 合同の会議は各地方の小委員会の委員等を合わせた委員等の三分の一以上の出席がなければ開催することができない。
- 3 合同の会議の委員長は、各地方の小委員会のいずれかの委員長が行う。

(小委員会の庶務)

第6条 小委員会の庶務は、整備局の道路部路政課において処理する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、小委員会の議事の手続きその他運営に関し、必要な事項は委員長が定める。

附 則

この規則は、平成23年 9月15日から施行する。

社会資本整備審議会道路分科会 東北地方小委員会 作業部会運営規則

社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会運営規則第7条に基づき、社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会作業部会運営規則を、次のとおり定める。

社会資本整備審議会道路分科会
東北地方小委員会 委員長 大滝 精一

(下部組織の設置)

- 第1条 小委員会の委員長は必要があると認めるときは、小委員会の下部組織を設置することができる。
- 2 下部組織に属すべき委員等は、小委員会に属する委員等のうちから、小委員会の委員長が指名する。
 - 3 案件に応じて、下部組織の長を置くこととする。
 - 4 下部組織の長を置く場合は、当該下部組織に属する委員の互選により選出する。

附則

この規程は、平成23年 9月15日から施行する。

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会運営規則

(趣旨)

第1条 本規則は、「社会資本整備審議会道路分科会運営規則」(平成22年8月3日道路分科会長決定)に基づいて関東地方整備局(以下「整備局等」という。)に設置する地方小委員会(以下「小委員会」という。)の組織、委員、会議、庶務その他委員会の設置等に関して必要な事項を定めるものである。

(小委員会の事務)

第2条 小委員会は、社会資本整備審議会道路分科会長(以下「分科会長」という。)の指名に基づき、以下の事務を行う。

- 1 直轄事業の事業評価など地方における道路事業の効率的な実施に関し、整備局等からの報告を受けること。
- 2 整備局等の報告に対し意見がある場合には、分科会長に対してその具申を行うこと。

(小委員会の委員及び組織)

第3条 小委員会に属すべき委員等(社会資本整備審議会令(平成十二年六月七日政令第二百九十九号)第4条第5項の「委員等」という。以下同じ。)は、道路分科会に属する委員等のうちから、道路分科会長が指名する。

- 2 委員等は、10名以内で組織する。
- 3 委員等の任期は、2年とする。
- 4 委員等は、再任されることができ、最長6年を限度とする。

(会議の成立条件)

第4条 会議は委員等の三分の一以上の出席がなければ開催することができない。

(合同会議の開催)

第5条 案件に応じて、他の地方の小委員会と合同の会議を開催することができる。

- 2 合同の会議は、各地方の小委員会の委員等を合わせた委員等の三分の一以上の出席がなければ開催することができない。
- 3 合同会議の委員長は、各地方の小委員会のいずれかの委員長が行う。

(審議過程の透明性の確保)

第6条 小委員会における審議過程の透明性の確保を図るため、委員等の氏名、会議の開催についてはあらかじめ公表するものとする。

- 2 小委員会の審議については、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、個人情報等を一時的に取り扱う場合等、委員長が必要と認める場合には、非公開とすることができる。なお、委員等は非公開の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、事業の関係者に対し、中継映像による傍聴措置を講ずることができる。
- 4 小委員会の会議に提出された資料等については、会議終了後、速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが、適切でない資料等については、公表しないものとする。

(下部組織の設置)

第7条 委員長は、必要があると認めるときには、下部組織を設置することができる。

2 下部組織に属すべき委員は、小委員会に属する委員から、委員長が指名する。

3 下部組織に座長を置き、委員長が指名する。

(小委員会の庶務)

第8条 小委員会の庶務は、整備局等の道路部路政課において処理する。

(要領の改正)

第9条 委員会を運営していく上で必要となる事項が発生した場合等においては、委員長の判断により、会議を招集し運営規則を改正することができる。

附 則

この規則は、平成22年12月 2日から施行する。

改正 平成24年10月 4日

改正 平成25年 6月 4日